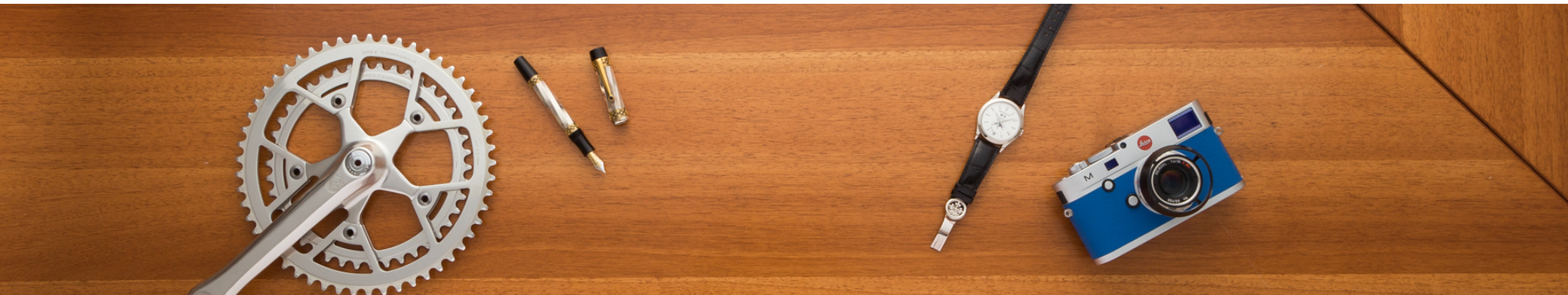


**SYUPPIN®**



**2019年3月期  
第3四半期決算補足資料**

**シュッピン株式会社**

<b>商号</b>	シュッピン株式会社 Syuppin Co., Ltd.
<b>証券コード</b>	3179
<b>代表者</b>	小野 尚彦
<b>本社所在地</b>	東京都新宿区西新宿1-14-11 Daiwa西新宿ビル3階
<b>設立</b>	2005年8月
<b>事業内容</b>	インターネットを利用して、「価値ある大切な新品と中古品」を安心安全にお取引を行う
<b>従業員数</b>	197名（2018年12月末）

<b>沿革</b>	1994年 8月	専門店屋号「Map Camera」としてカメラ事業を創業
	2005年 8月	当社設立（資本金100,000千円）
	2006年 6月	時計買取・販売事業を開始
	2008年 4月	筆記具買取・販売事業を開始
	2008年11月	スポーツ自転車買取・販売事業を開始
	2012年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
	2015年12月	東京証券取引所第一部市場に市場変更

# 3Q決算期初計画対比と通期業績予想修正（1月8日開示）について **SYUPPIN**<sup>®</sup>

- ▶ 通期業績予想修正はカメラ新品が想定比で伸び悩んだことが影響
- ▶ カメラ中古粗利率低下で利益修正幅大きくなるが、**顧客数拡大、既存顧客との取引量、財庫数（買取）拡大は継続**

## 売上高

カメラ新品売上が計画下回るのところを、カメラ中古セール実施で売上高自体ではおおむね計画通り。時計事業は好調持続。

2Q  
(7~9月期)

春～夏にかけてカメラ大型の新製品発売がなく、秋のカメラ新製品発売前の買い控えにより、新品売上未達（販促費も計画以上に使用）

3Q  
(10~12月期)

各社からフルサイズミラーレス発売され、多くのお客様に購入されるも想定を下回る  
→一眼レフからミラーレスへの転換期でミラーレス用レンズ拡充がこれからである等の要因

- ▶ 3Q累計計画対比：【カメラ】中古 101.9% / 新品 91.3% 【時計】全体 109.9% / 中古 131.1%

## 営業利益

各利益は、当社最大の商戦期である12月を含む3Qでも2Qまでの未達をカバーするに至らず。

2Q  
(7~9月期)

カメラ新品買い控えの中、消費刺激の為、優待チケット、ポイント還元等の販促強化により、販管費が増加

3Q  
(10~12月期)

買替えの促進、セールの実施等により中古カメラ粗利率が低下

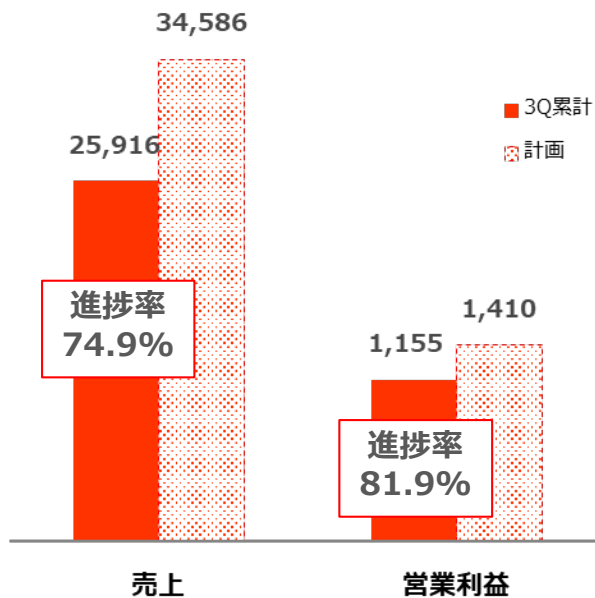
- ▶ 3Q累計計画対比：【カメラ】84.6% 【時計】98.2%

# 2019年度 通期業績予想修正 (1月8日開示内容)

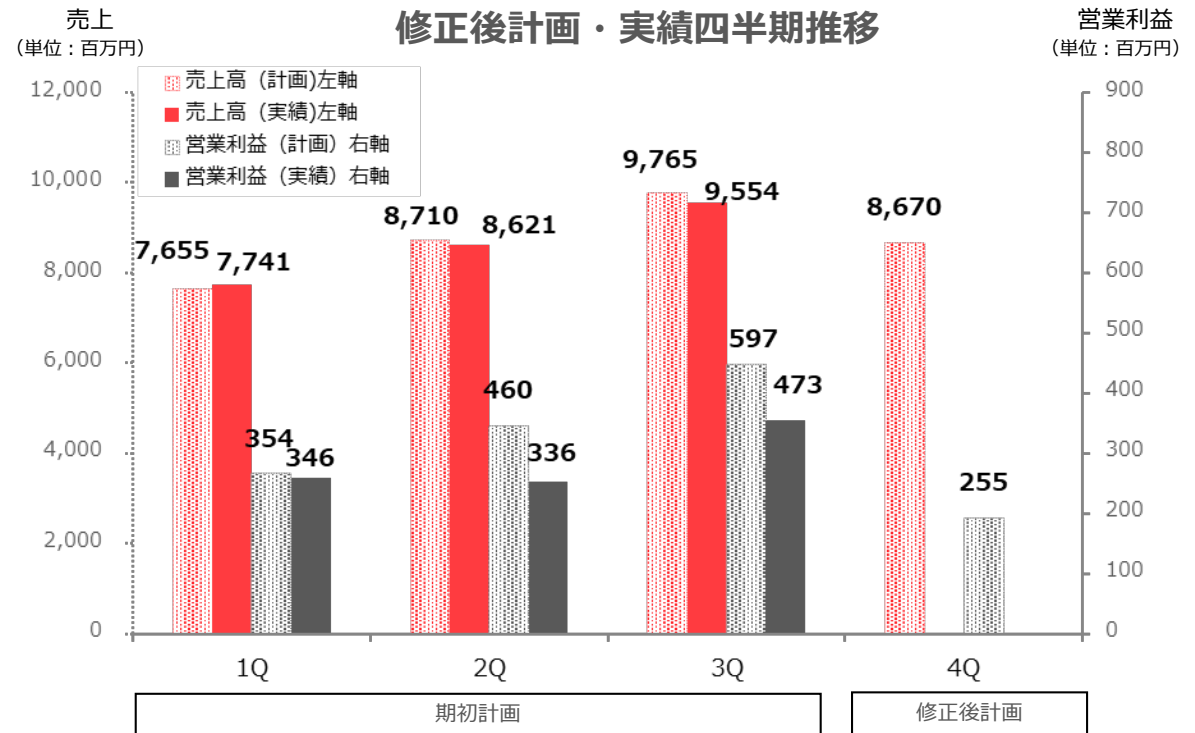
(単位：百万円)

2019.03期	期初予想	修正予想	増減額	増減率
売上高	35,381	34,586	△795	△2.2%
営業利益	1,842	1,410	△432	△23.5%
経常利益	1,833	1,400	△433	△23.6%

## 修正後通年計画・3Q実績累計比較

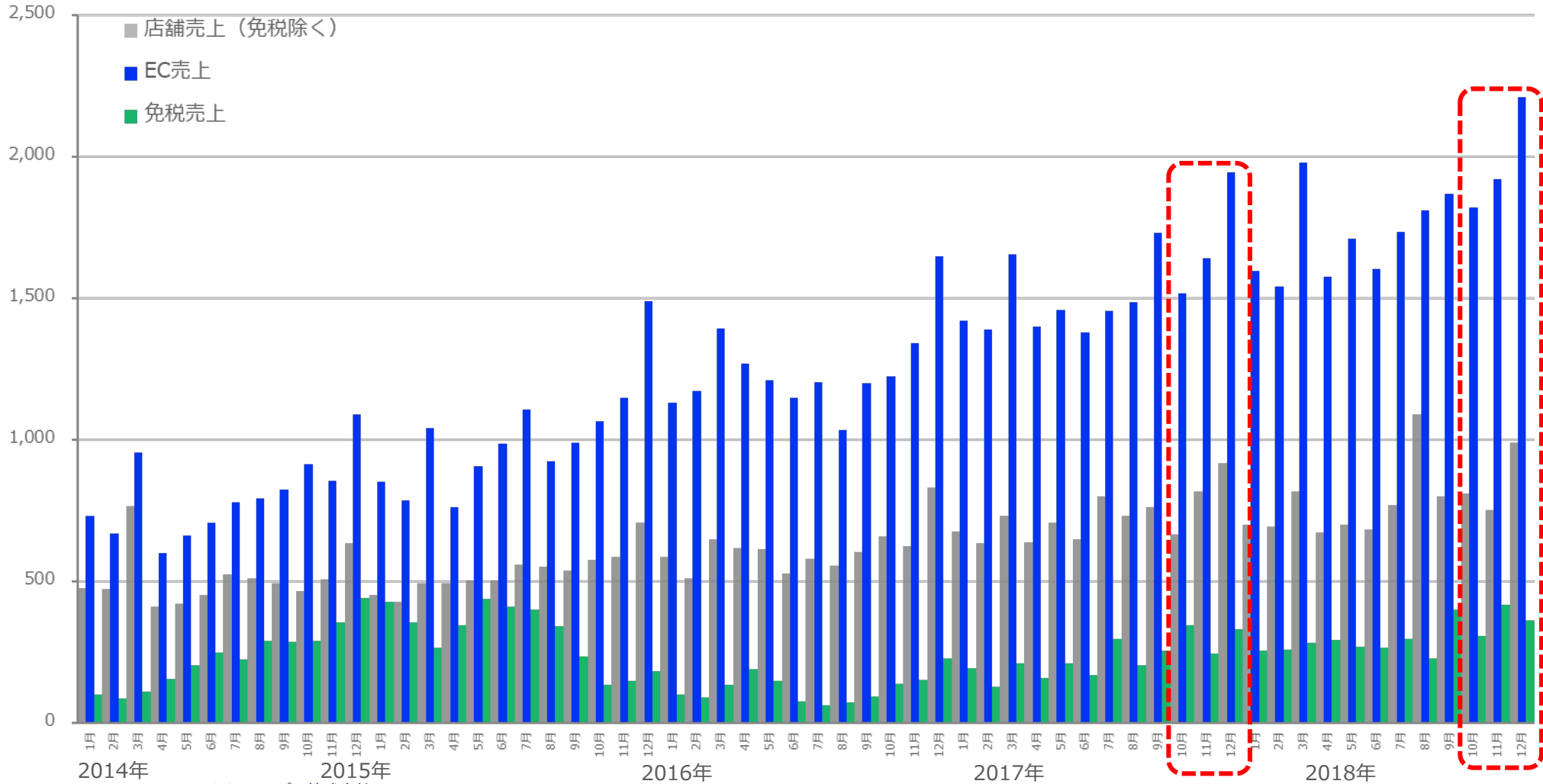


## 修正後計画・実績四半期推移

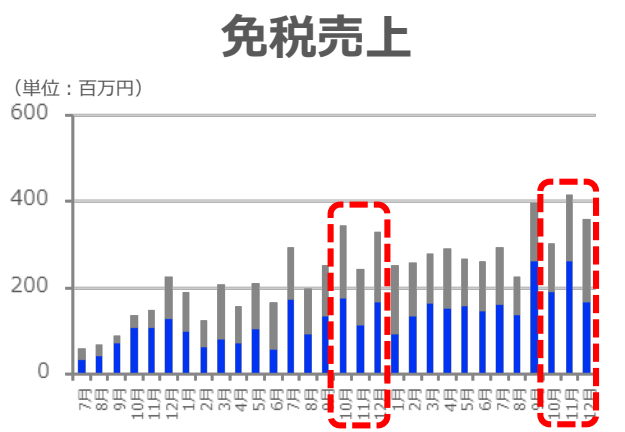
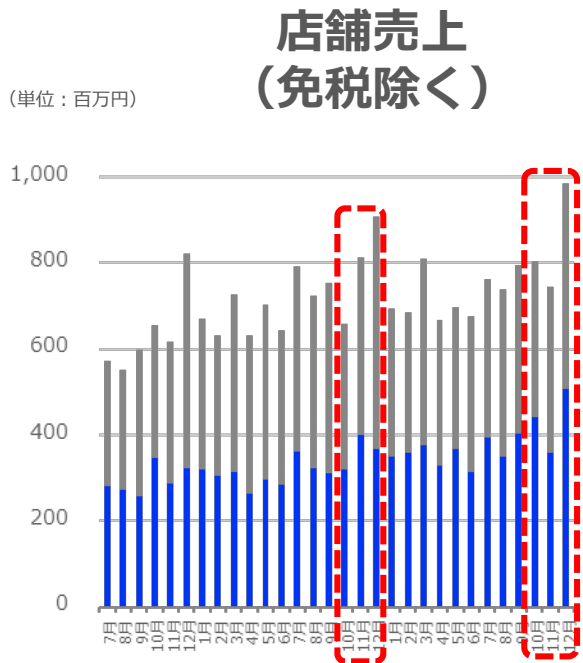
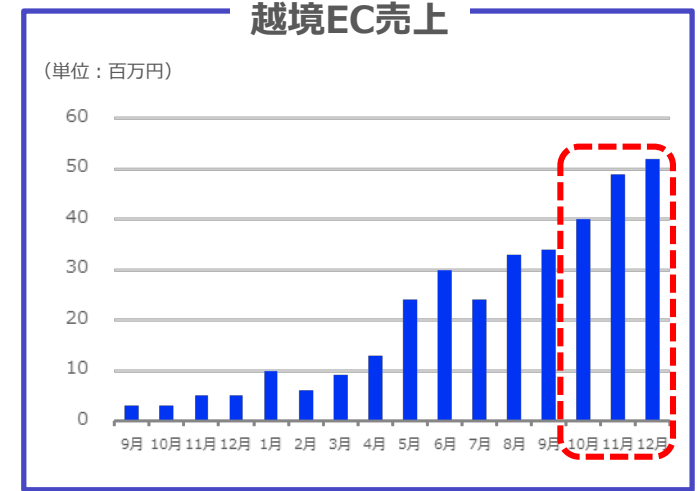
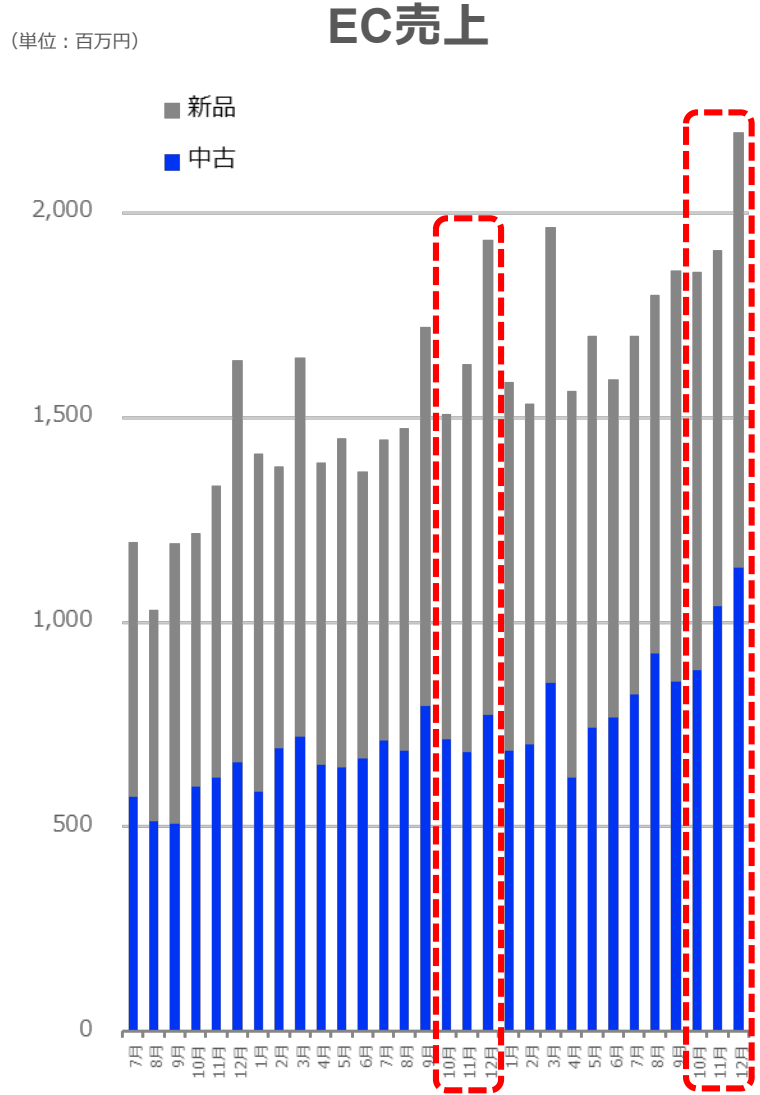


## EC売上高 過去最高

(単位：百万円)

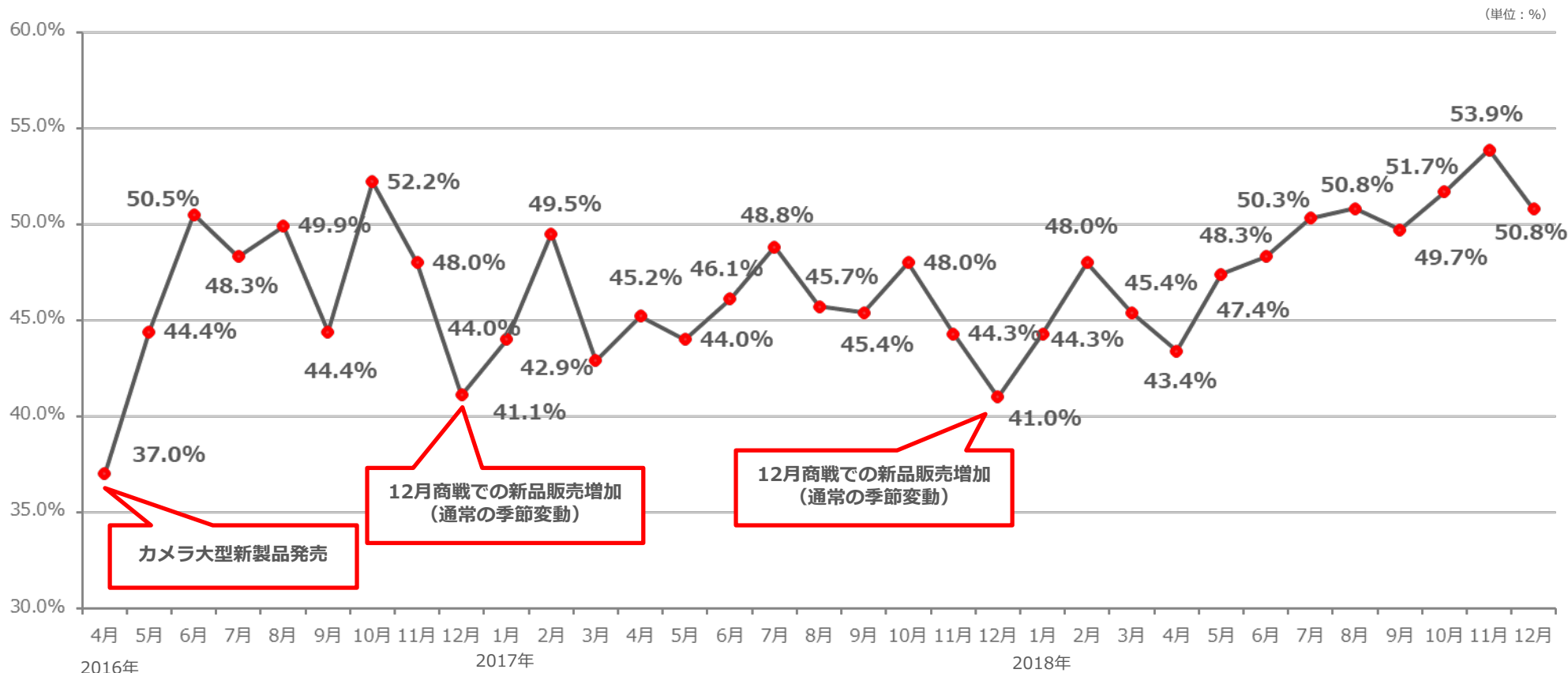


# チャンネル別 新品/中古品別 売上高推移



# 売上高全体に占める中古品比率推移

## 時計中古売上が好調持続、カメラ中古はセール実施等により販売強化

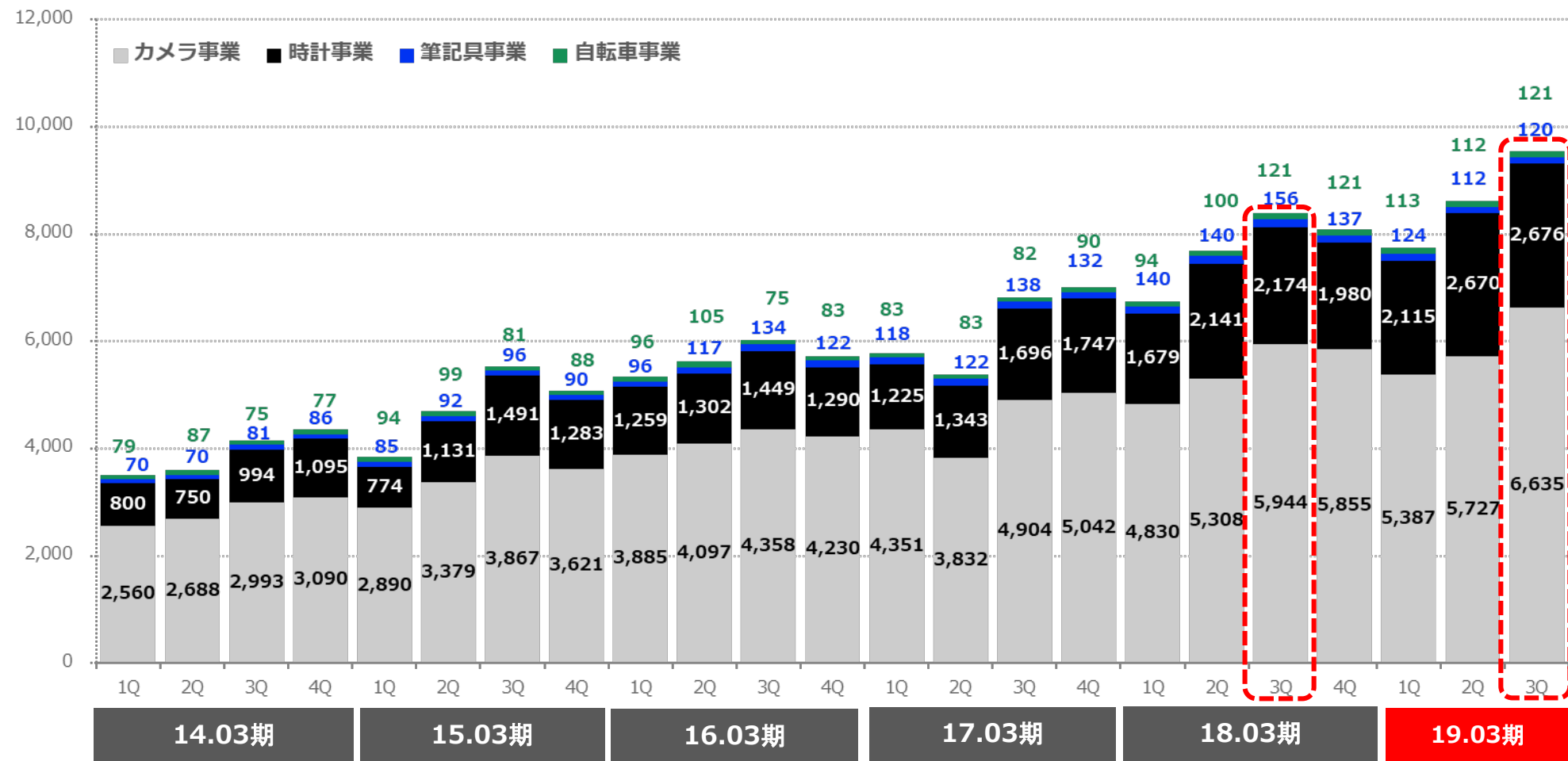


中古品比率	17.3期				18.3期				19.3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
	43.6%	47.3%	46.5%	45.2%	45.1%	46.4%	44.1%	45.8%	46.4%	48.2%	52.0%

# 事業別売上高の四半期推移

## カメラ、時計事業において前年同期比 売上増加

(単位：百万円)

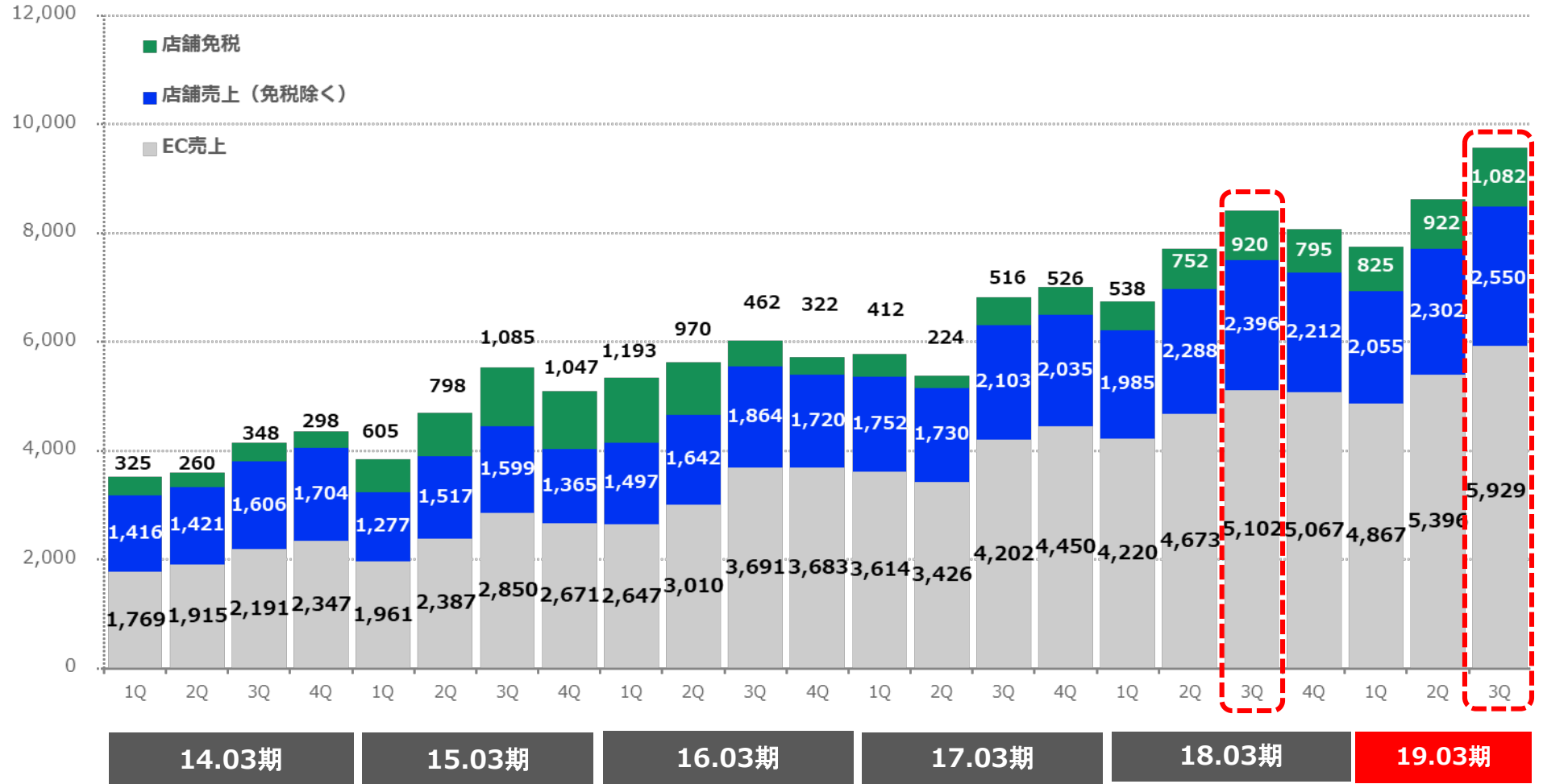




# 販売チャネル別売上高の四半期推移

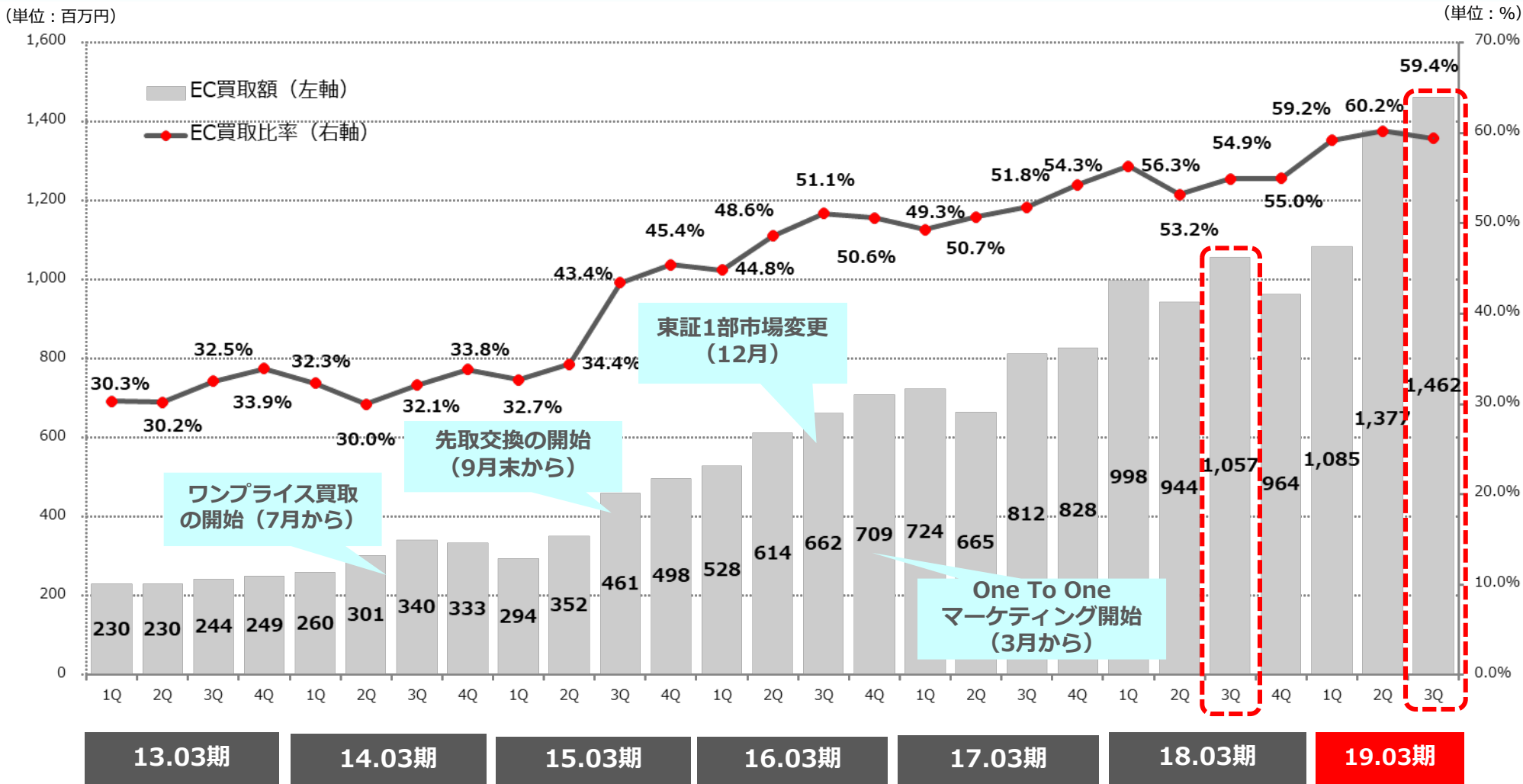
前年同期比：すべてのチャネルにおいて売上増加

(単位：百万円)



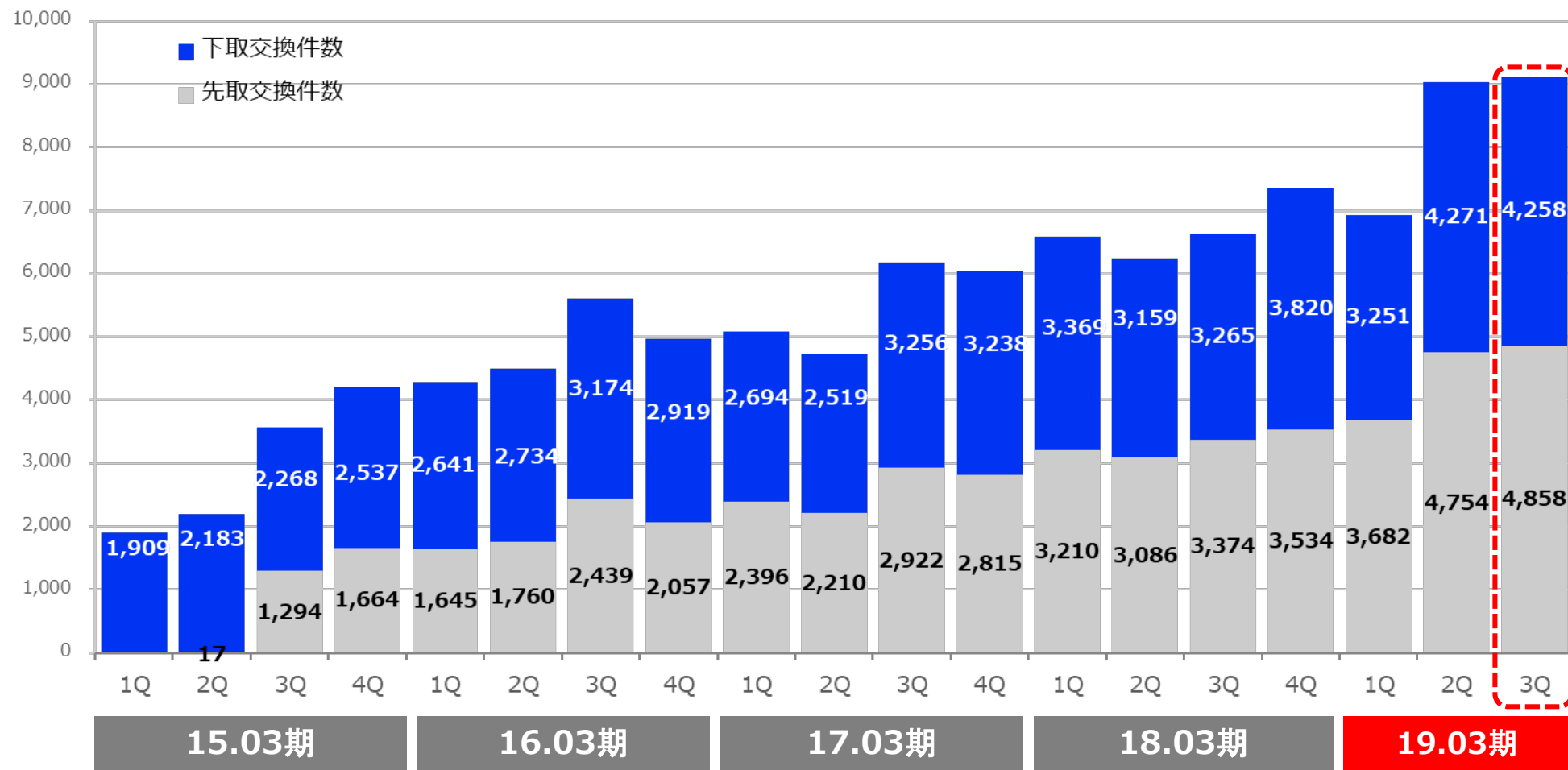
# カメラ事業 中古EC買取推移

物流スペースの拡張による中古カメラの買取から商品化までの業務効率化と積極的な買取施策の効果により**EC買取額前年同期比 138%**



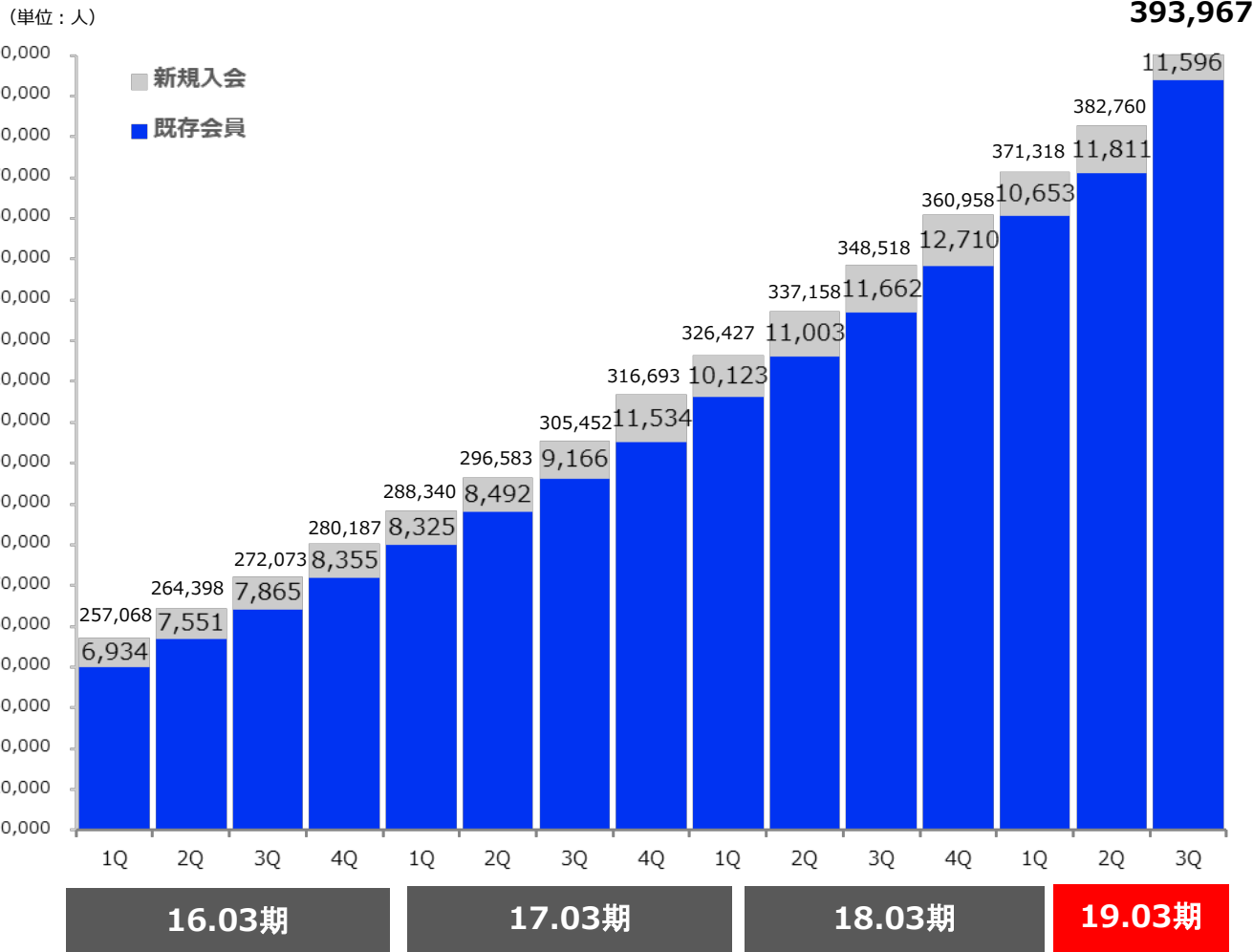
## 2Qに引き続き下取、先取ともに4,000件を突破

(単位: 件)

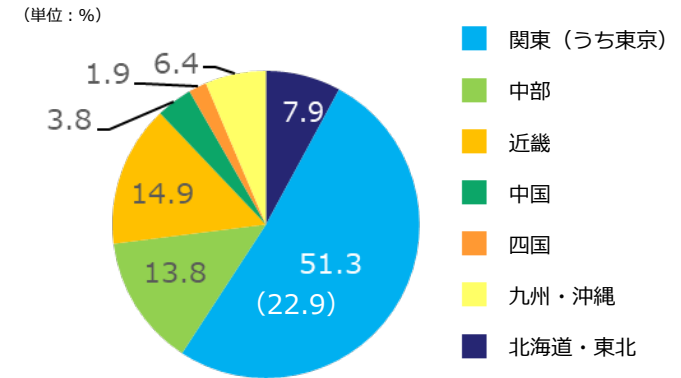


# Web会員数の四半期推移、会員属性

- ▶ 新規会員数、毎月3,000名台を継続
- ▶ 会員数39万人を突破



Web会員地域分布 (2018年12月末)



Web会員年齢分布 (2018年12月末)



# 事業別業績の前年同期比較

(単位：百万円)

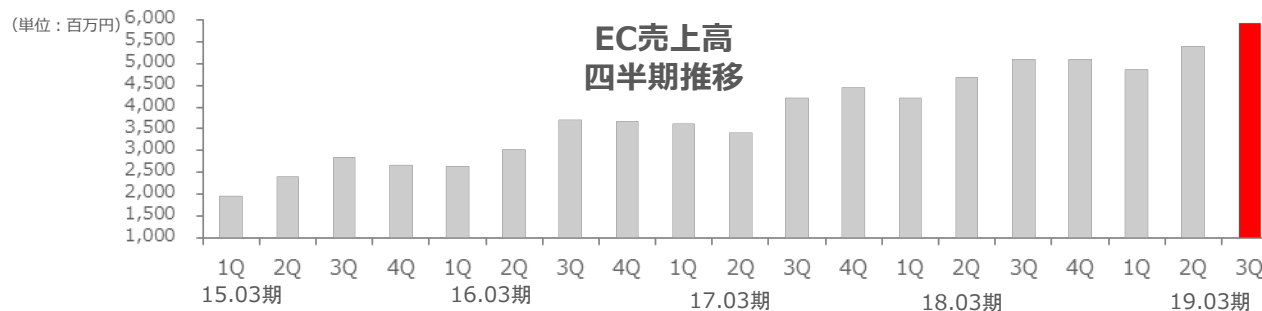
事業・販売チャネル	18.03期 3Q	19.03期 3Q		備考	
	実績	実績	前年同期比		
 カメラ事業	E C売上	11,287	13,119	116.2%	▶ 新品弱いもののE C売上2ケタ伸長 ▶ 3、4月実施のカメラ中古買取～商品化のライン再構築も7月以降正常化し、カメラ中古順調に商品化
	店舗売上	4,795	4,630	96.6%	
	カメラ売上計	16,082	17,750	110.4%	
	セグメント利益	1,345	1,383	102.8%	
 時計事業	E C売上	2,134	2,546	119.3%	▶ <b>EC、店舗売上</b> とも好調持続 【好調要因】 ・ 戦略的な商品ラインアップの拡大 ・ 免税売上の増加 ▶ <b>セグメント利益増</b> ▶ 商品詳細ページに動画掲載（2018年7月開始）
	店舗売上	3,860	4,915	127.3%	
	時計売上計	5,994	7,462	124.5%	
	セグメント利益	373	412	110.4%	
 筆記具事業	E C売上	302	250	82.6%	▶ 中古品売上の減少により、利益ともに減 ▶ 9月の店舗リニューアルに伴う一時的コスト増
	店舗売上	133	106	79.6%	
	筆記具売上計	436	356	81.7%	
	セグメント利益	30	6	22.8%	
 自転車事業	E C売上	238	277	116.0%	▶ E C売上、新品売上は好調 ▶ 中古の高額完成車の販売台数が伸び悩む
	店舗売上	76	70	92.5%	
	自転車売上計	315	347	110.3%	
	セグメント利益	▲3	▲6	-	
合計	E C売上	13,963	16,193	116.0%	
	店舗売上	8,866	9,722	109.7%	
	売上高合計	22,829	25,916	113.5%	

# 決算概要：前年同期比較

- ▶ 売上高前年同期比10%以上の増収なるも、カメラ新品影響し、減益
- ▶ 粗利率、前年同期比▲0.4pt
  - ➡ カメラ新品の売上が伸び悩むなか、買替えの促進、セールの実施等により中古買取・販売を強化した結果、カメラ中古の粗利率が低下
  - ➡ 時計好調による売上高構成比率の変化（時計売上高構成比の増加）
- ▶ 営業利益：前年同期比 94%
  - ➡ 3Q単体（10～12月期）では販促費コントロールにより、販管費比率低減するも、粗利率の低下及び2Qまでの販管費増により、計画比、前年比で利益マイナス

	18.03期 3Q		19.03期 3Q				
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	期初計画	計画比増減
売上高	22,829	-	25,916	-	113.5%	26,131	▲215
売上総利益	3,798	16.6%	4,206	16.2%	110.8%	-	-
販売管理費	2,569	11.3%	3,051	11.8%	118.8%	-	-
営業利益	1,228	5.4%	1,155	4.5%	94.0%	1,411	▲256
経常利益	1,218	5.3%	1,146	4.4%	94.1%	1,404	▲258
当期純利益	840	3.7%	784	3.0%	93.4%	957	▲172

(単位：百万円)



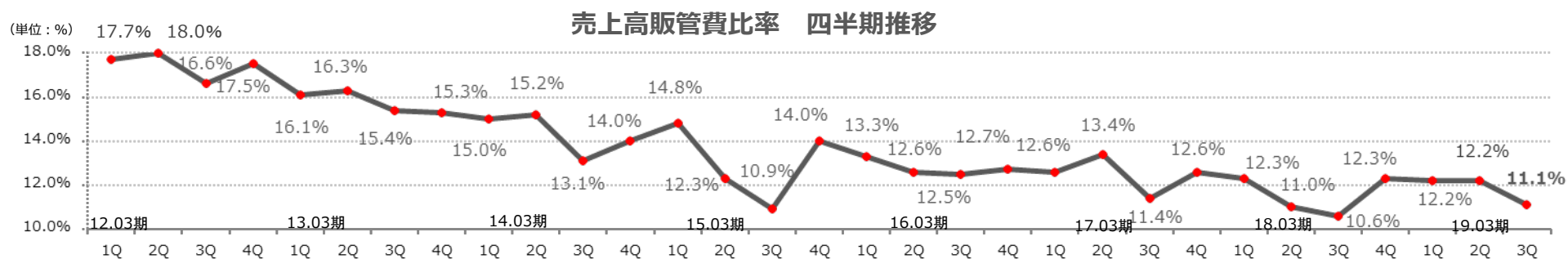
# 販売管理費の前年同期比較

3Q単体（10～12月期）では、販促費コントロールにより販売管理費比率は低下（2Qから1.1pt低下）

- ▶販売促進費：ポイント還元及び「ご優待チケット」を利用した販売施策の強化による増加
- ▶その他費用：店舗フロア入替（筆記具店舗移設し、カメラ下取交換フロアを新設）による費用加算  
新卒、中途採用拡充（採用費）

	18.03期 3Q		19.03期 3Q		前年同期比	
	実績	売上比	実績	売上比	売上比（PT）	増減
人件費	804	3.5%	835	3.2%	▲0.3	+31
広告宣伝費	37	0.2%	43	0.2%	-	+5
販売促進費	406	1.8%	548	2.1%	0.3	+142
業務委託費	118	0.5%	153	0.6%	0.1	+34
支払手数料	550	2.4%	631	2.4%	-	+81
減価償却費	144	0.6%	160	0.6%	-	+15
地代家賃	159	0.7%	197	0.8%	0.1	+38
その他	349	1.5%	482	1.9%	0.3	+132
<b>販売管理費計</b>	<b>2,569</b>	<b>11.3%</b>	<b>3,051</b>	<b>11.8%</b>	<b>0.5</b>	<b>+482</b>

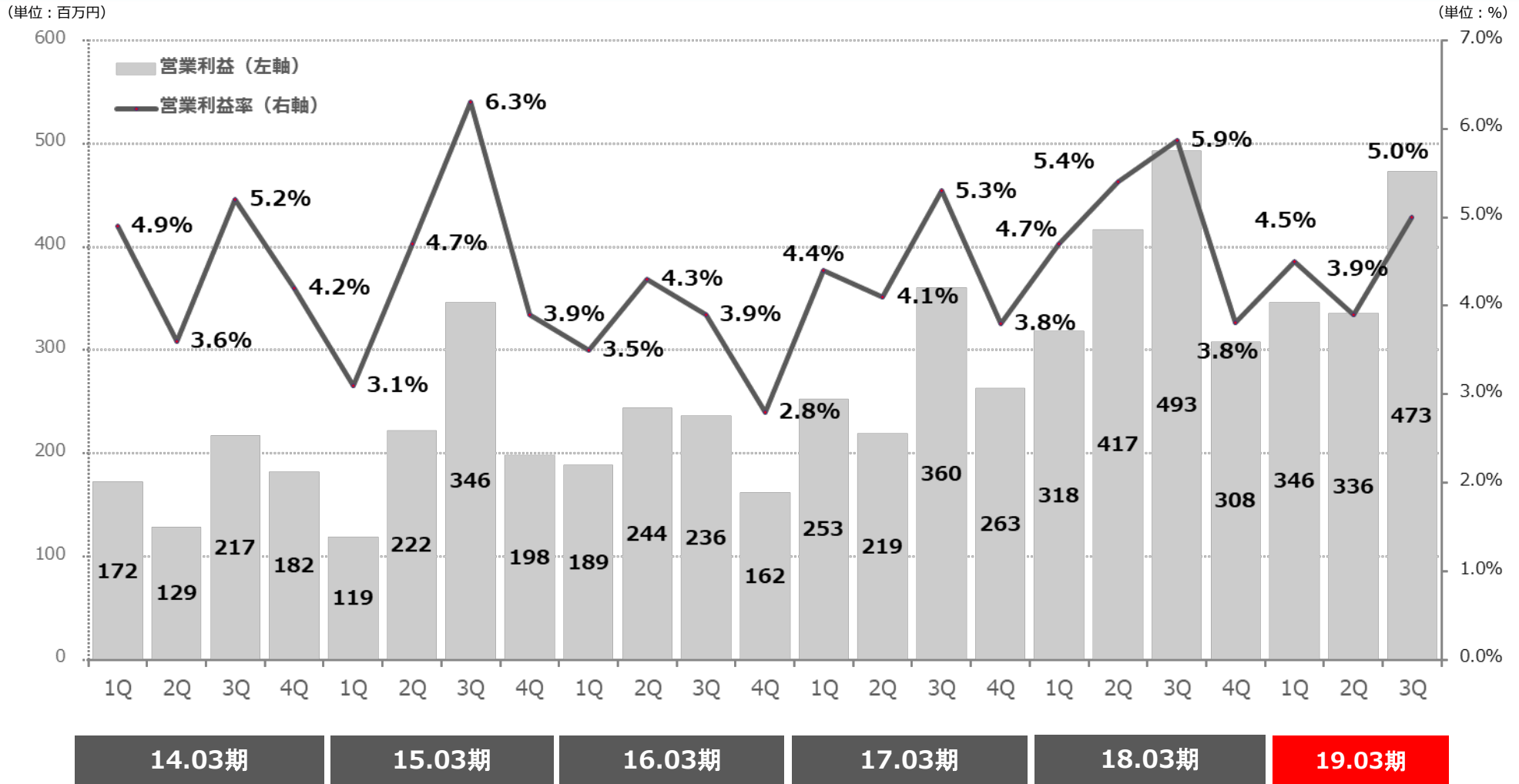
(単位：百万円)



年間推移	12.3期	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期 1Q	19.3期 2Q	19.3期 3Q
	17.4%	15.7%	14.3%	12.8%	12.8%	12.4%	11.5%	12.2%	12.2%	11.8%

# 営業利益・営業利益率の四半期推移

▶ 3Q前年同期比では若干低いものの、2Q（7～9月期）からは営業利益額、利益率ともに大きく改善（営業利益率1.1pt改善）





買取が順調に推移し、「価値ある財庫」約56億円

(単位：百万円)

	19.03期 2 Q	19.03期 3 Q	
		実績	増減
流動資産	8,428	9,625	+1,197
商品	5,301	5,618	+317
固定資産	1,256	1,296	+40
<b>資産合計</b>	<b>9,684</b>	<b>10,895</b>	<b>+1,211</b>
流動負債	4,039	4,994	+955
固定負債	1,081	1,014	▲67
<b>負債合計</b>	<b>5,120</b>	<b>6,008</b>	<b>+888</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,564</b>	<b>4,886</b>	<b>+322</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>9,684</b>	<b>10,895</b>	<b>+1,211</b>

- 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。